

ハザードマップ (洪水・土砂災害編)

- 1 災害を知る
- 2 防災情報と避難行動
- 3 災害に備えるために
- 4 避難する際の心得
- 5 防災情報の入手
- 6 避難するときの心得
- 7 わが家の防災メモ



避難の際には、感染症対策として、マスクの着用、3密の回避、ソーシャルディスタンスの確保をお願いします。
【ハザードマップ(洪水・土砂災害編)に関するお問い合わせ】山元町(総務課) 電話：0223-37-1111

① 災害を知る

河川水位と避難情報発表の目安

大雨により坂元川の水位が上昇し、氾濫の危険性が高くなると、河川管理者(宮城県)から河川の水位に関する情報が発表されます。

町が発令する避難情報の目安

避難指示(緊急) 避難勧告	氾濫危険水位	3.1m
避難準備・高齢者等避難開始	避難判断水位	2.9m
水防団出動	氾濫注意水位	1.6m
	水防団待機水位	1.3m

氾濫発生

氾濫により河川からの越水や堤防決壊のおそれがある水位

避難の目安となる水位

洪水に対する水防活動の目安となる水位

水防活動するための準備を行う水位

家屋倒壊等氾濫想定区域

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、家屋の倒壊や流失をもたらすような氾濫の発生が想定される範囲をいい、家屋の倒壊・流失の原因に応じて、洪水の氾濫流による区域と、洪水時の河岸侵食による区域があります。

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)
堤防の決壊等が発生した場合に、未道家屋の倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)
河岸が侵食された場合に、家屋の倒壊等の危険性がある区域の目安を示すものです。

土砂災害

土砂災害は大雨や地震によって突然起こります。いつ、どこで、どの程度の規模で起こるのか、正確に予測することはできません。

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊) 土石流 地すべり

大雨などによって地面に水分がしみ込み、地盤がゆるみ斜面が突然崩れ落ちます。

長引く雨や台風の大雨で、谷や山にある土や石が一気に流れ落ちます。

緩やかな斜面で粘土のような滑りやすい土壌に雨がみちみち、地面が動きまわります。

土砂災害(特別)警戒区域

宮城県では、土砂災害防止法に基づき、土砂災害の被害を受けるおそれがある区域を「土砂災害特別警戒区域」と「土砂災害警戒区域」に指定しています。山元町には54箇所の指定区域があります。

(土砂流の場合)

- 土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)
- 土砂災害警戒区域(イエローゾーン)

② 防災情報と避難行動

警戒レベル、避難情報と避難行動

水害・土砂災害について、町が出す避難情報と、国や県が出す防災気象情報が5段階の警戒レベルに整理されました。内容を正しく理解し、それぞれのレベルに応じて適切に行動できるようにしましょう。

警戒レベル	皆さんがとるべき行動	避難情報等	防災気象情報
警戒レベル5 命の危険、直ちに安全確保	命を守るための最善の行動をとります。	緊急安全確保 ¹ 【市町村が発令】	警戒レベル5相当情報 氾濫発生情報 大雨特別警報 等
警戒レベル4 危険な場所から全員避難	レベル4までに必ず避難 速やかに避難先へ避難しましょう。公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。	避難指示 ² 【市町村が発令】	警戒レベル4相当情報 氾濫危険情報 土砂災害警戒情報 等
警戒レベル3 危険な場所から高齢者等避難	避難に時間を要する人(高齢の方、障害のある方、乳幼児等)とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。	高齢者等避難 ³ 【市町村が発令】	警戒レベル3相当情報 氾濫警戒情報 洪水警戒情報 大雨警戒情報 等
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。	洪水注意報 大雨注意報等 【気象庁が発令】	警戒レベル2相当情報
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。	早期注意情報 【気象庁が発令】	警戒レベル1相当情報

これは、住民が自主的に避難行動をとるために参考とする情報です。

雨の強さと感じ方

1時間に20mm以上の大雨が降り、降り始めからの累積雨量が100mmを超えたりした場合、災害が起こる危険性があります。雨の様子や気象情報に十分注意して、河川やがけなど危険な場所には近づかないようにしましょう。

1時間雨量が	1時間雨量が	1時間雨量が	1時間雨量が	1時間雨量が
10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm~
やや強い雨 ザーザーと降る	強い雨 どしゃ降り	激しい雨 バケツをひっくり返したように降る	非常に激しい雨 滝のようにゴーゴーと降り続く	猛烈な雨 水しぶきであたり一面が白くなるような圧感や恐怖を感じる

③ 災害に備えるために

災害への備え

地震や津波は、いつ起きるかわかりません。また、近年は大雨などの自然災害が多発しています。災害が起きたとき、慌てず、落ち着いて行動ができるように、家族や地域でよく話し合い、日ごろから災害に備えましょう。

- 浸水想定区域を確認
- 避難場所や避難路を確認
- 安否確認の方法について確認
- 防災情報に注意を
- 自宅内外の点検と整備を
- 非常持ち出し品の事前準備を

自主防災について

わたしたちの地域を災害から守るために、まず自助(自分の命は自分で守る)、そして共助(自分たちの地域をみんなで守る)を意識して行動することが大切です。

町では、地域の防災力を向上させるために自主防災組織の活動を促進しています。一人ひとりの力は小さくても、地域の人々が協力すれば大きな力になります。日ごろから自主防災組織の活動に積極的に参加することが、自分や家族そして地域を守ることに繋がります。

山元町総合防災訓練

町では、台風や集中豪雨に伴う土砂災害などの各種災害に備えるため、総合防災訓練を実施しています。大規模災害に対する防災体制の確立と町民の防災・減災意識を高めることを目的に、公助が機能するまでの自助・共助に主眼を置いた各種訓練を自主防災組織と防災関係機関、小中学生も含めた地域住民が一体となって行います。

④ 避難に備えるために

非常持ち出し品チェックリスト

非常時の避難に備え、普段から持ち出し品を用意してリュックサックなどに入れておくことで便利です。荷物の重さの目安は、男性15kg、女性10kg程度がよいとされます。乳幼児・子ども・高齢者など家族の状況に応じた備えをしておきましょう。また、感染症予防のため「マスク・体温計・消毒液等」事前に準備をして対策をしておきましょう。

- 非常食・飲料水
- 貴重品
- 衣類
- 乳幼児の家庭
- 高齢者の家庭
- アレルギー疾患
- 非常備蓄品
- 衛生・医薬品
- 生活用品・道具類

⑤ 防災情報の入手

防災情報の伝達経路

大規模な洪水、地震、津波などの災害のおそれがある場合には、防災気象情報(注意報・警報・特別警報)、災害情報(地震情報、津波情報・噴火情報等)、避難情報などの防災情報が町民の皆さんへ提供されます。

国土交通省・気象庁・宮城県

山元町 避難情報 TEL: 0223-37-1111

あぶくま消防本部 巨匠消防署 山元分署

消防団 広報車 防災行政無線 情報端末

皆さん同士の声の掛け合い

情報を収集するには

防災情報の入手は災害対策の第一歩です。信頼できる最新の情報を積極的に入手し、状況を正しく判断することが重要です。

- メールで入手
- スマートフォンから入手
- 電話で入手
- テレビ・ラジオから入手
- ハザードマップから入手

⑥ 避難するときの心得

避難とは、難を避けること、つまり安全を確保することであり、先ずは自宅の災害/ハザードマップ等で事前に確認し、自宅が継続できる場合は自宅避難を検討してください。身の危険を感じたら、ためらわず早めに避難してください。誰かに頼りきりになるのではなく、自分自身の判断で速やかに行動することが重要です。

- 避難の呼びかけに注意
- ためらわない
- 避難する前に
- 感染症対策を考えた避難
- 単独で行動しない
- お互いに協力して
- 危険を避ける
- 低い土地に注意
- 気をゆるめない

要配慮者の支援

要配慮者とは、高齢者、外国人、妊婦、乳幼児、障がいのある方、ヘルプマークやヘルプカードを携行している方などをいいます。災害が起きたとき機嫌になる方多くは、ひとりで避難することが困難な要配慮者の方たちです。平日のコミュニケーションを通じてお一人おひとりを地域でしっかりと把握し、緊急時には地域で協力して支援する体制を整えておく必要があります。

⑦ わが家の防災メモ

「避難に必要なか?」

ハザードマップで確認し、自分の避難計画をしよう!

災害時の避難場所や緊急の連絡先について家族で話し合い、下の表に書き込んで共有しましょう。

わが家の避難行動計画

一次集合場所	指定避難所・指定緊急避難場所
1	1
2	2

家族の情報

名前	生年月日	血液型	連絡先その他
名前	生年月日	血液型	連絡先その他
名前	生年月日	血液型	連絡先その他
名前	生年月日	血液型	連絡先その他
名前	生年月日	血液型	連絡先その他

災害用伝言ダイヤル171

大規模な災害が発生した際に、被災地の方が録音した安否情報をその他の地域の親戚や友人などが「災害用伝言ダイヤル171」を通じて再生することができます。伝言の録音・再生は被災地の方々の自宅の電話、公共電話、携帯電話を利用することができます。なお、利用にあたっての事前の契約などは不要です。詳細は携帯電話各社ホームページで確認してください。

伝言の録音方法

録音 171 にダイヤル (暗証番号なし) 1 をダイヤル (暗証番号あり) 3 をダイヤル 【4桁入力】*1 電話番号*2 (市外局番から) 伝言を録音

伝言の再生方法

再生 171 にダイヤル (暗証番号なし) 2 をダイヤル (暗証番号あり) 4 をダイヤル 【4桁入力】*1 電話番号*2 (市外局番から) 伝言を再生

被災地の方 自宅の電話番号または連絡を取りたい被災地の方の電話番号
被災地以外の方 連絡を取りたい被災地の方の電話番号

災害用伝言板(web171)との連携
災害用伝言ダイヤル171と災害用伝言板(web171)との連携により、それぞれで登録された伝言内容を相互に確認可能です。

インターネットでのお手続きはこちらから Web171 <https://www.web171.jp>